

## 小6国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 76.8%

**ねらい**：漢字の読み方と書き方についての知識を問う。

**分析と対策**：小学生の間に習う漢字は、中学生になるまでに、正しく読み書きができるようにしましょう。

### 2 ことばのきまり 73.1%

**ねらい**：助詞の用法の識別について問う。

**分析と対策**：「で」「と」「から」「が」という、文を組み立てる上でよく用いられる重要な助詞をあつかっています。品詞や用法を正しく識別するには、ある程度の反復練習が必要です。また、問題を解いたあとは必ずノートにまとめ、体系的な文法の知識を身につけられるようにしましょう。

### 3 短歌の鑑賞 79.7%

**ねらい**：短歌に歌われている情景や、短歌に用いられる表現技法の理解などを問う。

**分析と対策**：韻文としての短歌を味わうときに必要な、基本的な知識(表現技法ほか)や鑑賞力などを確認する出題が中心になっています。(1)(4)短歌の特色や修辞技巧に関する基礎知識を問う問題は、必ず得点できるようにしましょう。また、短歌を鑑賞するときは、場面を思いえがくことも大切です。その短歌が、どの季節のどういう場所のできごとをえがいているのかを的確につかむと、作者が短歌にこめた思いを理解できるようになります。短歌に用いられている一つ一つのことばをていねいに読み取っていくようにしまし

よう。(5)短歌とあわせて、鑑賞文も細部まで読み取ることが必要です。鑑賞文の中のキーワードに着目しましょう。

### 4 論説文の読み取り 78.7%

**ねらい**：文章の細部を読み取る力を確認しながら、文章全体で強調されている内容が何かを問う。

**分析と対策**：この文章では、「辞書を引く」というときの「引く」ということばが、どういう由来にもとづいて使われるようになったのかということを、さまざまな例を引き合いに出しながら検証し、答えを提示しています。いろいろな意味を持つことばとしては、「引く」のほかにも、「回る」「かける」「さす」などたくさんあります。それぞれのことばにはどんな意味・用法があるか、辞書や例文などを使って調べてみるとよいでしょう。(1)接続語の空所補充の問題です。空欄の前後がどのようなつながり方をしているか、それぞれしっかり確かめましょう。(5)段落分けの問題では、まず、確実に「分けられる」ところと、「分けられない」ところを探し、それらの条件に合う選択肢を探すとよいでしょう。(6)内容一致の問題では、それぞれの選択肢の内容を一つ一つ本文と照らし合わせ、どの部分が本文に合っていて、どの部分が合っていないのか、細かく検証するようにすると、正答率が上がります。

全体の平均点は77.9点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。